



茨城の土木遺産

大手橋 (水戸市)

昭和10年 (1935年) 竣工

弘道館前に架かる。初代の橋は、佐竹氏による水戸城拡張に伴い政庁のあった二の丸と三の丸とを堀を渡って連絡する橋として 1601 年に大手門とともに建設された。現在の橋は昭和 10 年、当時の最新技術である鉄筋コンクリート造の橋として架け替えられた。橋長 22.7m、幅員 6.12m。水戸城大手門と一体となって権威を誇ってきた歴史がある。平成 22 年度に土木学会選奨土木遺産に認定された。

主な内容

- ▼ 令和 4 年賀詞交歓会を開催
- ▼ 12 支部長が年頭の抱負
- ▼ 関東地方整備局と意見交換会
- ▼ 建女ひばり会が建設の絵本贈呈

本会ホームページに「茨建協ニュース」の内容を掲載しています。ご活用ください。

本会はコンプライアンス(法令遵守)をさらに徹底します

発行 (一般社団法人) 茨城県建設業協会

〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22

電話 029-221-5126 (代)

H P <http://www.ibaken.or.jp/>

編集 日本工業経済新聞社・水戸支局